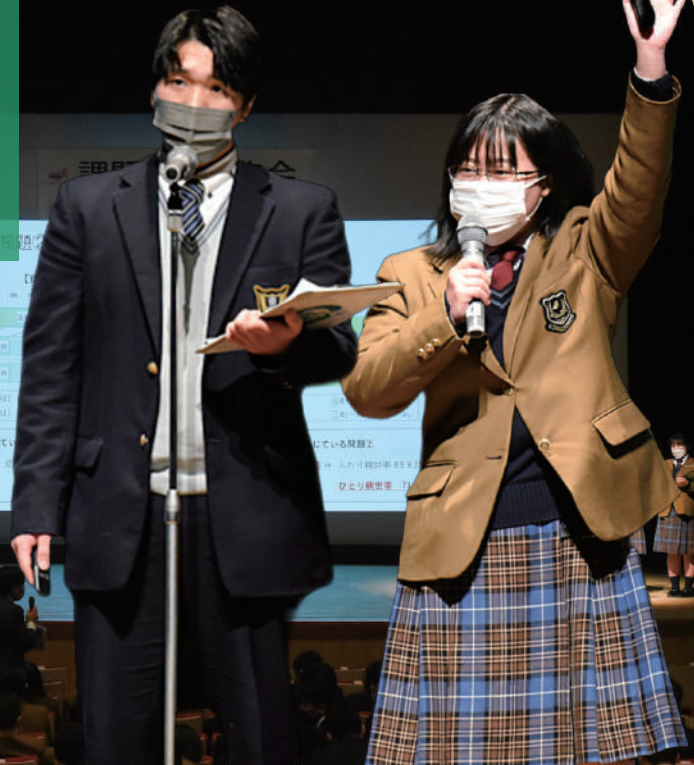


# Glacial

ローカル×グローバル  
高校生の新たな学び方

## Action News

学校法人 森教育学園  
岡山学芸館高等学校



今年度研究の集大成！  
西大寺公民館大ホールでの課題研究報告会

## Topic 1

### 校内での課題研究報告会を実施しました！

#### 午前の部は高校2年生の発表の時間

2月1日（水）に校内の24教室を使って課題研究報告会を実施しました。高校2年生は19のゼミに所属し、総勢142の研究グループが存在しています。そのすべてのグループが午前中にパワーポイントを用いて1年生と発表時間ではない2年生に向けてプレゼンを行いました。教員も高校2年生の1年間の成果発表を聴いて、声の大きさは適正か、タイトルと内容が一致しているか、考察が結果から導いた妥当なものかなどなど、様々な観点から評価しました。質疑応答の時間では教



員からも厳しい指摘が入るなど、良い緊張感漂う報告会となりました。

#### 午後の部はゼミ内交流の時間

午後の部は同じゼミに所属する高校1年生と2年生が同じ教室に集まり、ゼミ内で交流会を行いました。1年生は11月の中間報告会からの進捗度合いを2年生に披露して、次年度に向けた助言などをしっかりともらうことができました。高校1年生はこのあと探究の成果をポスターの形にまとめて提出することになっていますので、有意義な時間となりました。



#### 外部発表を行う探究グループを決定

午前の部で発表をした142の研究グループのうち、特に優秀だと認められた6つの研究は、2月16日に西大寺公民館で行われる外部向けの課題研究報告会でもその成果を披露しました（本誌裏面参照）。どの発表も個性的で、自身の興味に基づいて探究活動を進め、社会的あるいは学術的に価値のある発表となっていました。

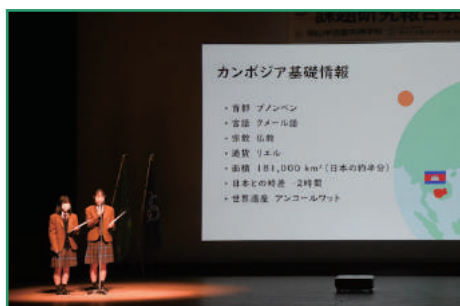




## 令和4年度 課題研究報告会を 開催しました！

2月16日、西大寺公民館大ホールにて、本年度の研究活動の集大成となる課題研究報告会を開催しました。1月末に校内で2年生19ゼミ全員が142テーマの発表を行いました。中から優秀な発表で選ばれた6グループと、課題研究カンボジア研修のフィードバック、海外留学から帰国した英語科2年生の課題研究、そして国際交流グループYEEPが発表を行いました。本学園の中学生と高校1・2年生が午前と午後に分かれて観覧しました。学校とは違う大会場の独特の緊張感の中、発表生徒たちは堂々と素晴らしい発表を行い、活発な質疑応答が見られる素晴らしい時間になりました。

会の後半では、本校課題研究報告会では初めての試みであるパネルディスカッションを実施しました。ゲストパネラーには、IPU環太平洋大学 小川 正人副学長と、株式会社ベネッセコーポレーション 芦野 恒輔様をお迎えし、本校卒業生代表：吉野茜理さん（2018年度卒）・暮石琴乃さん（2019年度卒）・竹内結萌さん（2021年度卒）と共にそれぞれの立場からご意見を頂きました。午前の部は「高校時代に課題研究に取り組む意味」、午後の部では「課題研究が将来どう生きるか」をテーマに、会場の生徒たちも発言をしながら、熱い討論が繰り広げられました。生徒の皆さんの「課題研究」に対する捉え方が変化し、今後の取り組みへのマインドが向上することを期待しています。



### 【カンボジアFW】

#### カンボジアフィールドワークでの学び

平岩 恋季さん・萩原 瑞稀さん・坂本 優衣さん・大久保 百穂さん・磯野 穂香さん

12月にカンボジアに1週間ほど滞在して、現地のスラム街やゴミ山、孤児院などリアルな現場に訪れ現状を目の当たりにしました。日本での私たちの生活からすると、カンボジアの人々はとても厳しい日々を送っているように思いましたが、悲壮感はなく、笑顔あふれる国でした。発表では「支援」の在り方について私たちの考えを提示しました。カンボジアに対する先入観や自分なりの考えをしっかりと持っていくと、多くの気づきや学びが得られるので、次年度以降にカンボジア研修に参加される生徒の皆さんは楽しみにして下さい！



### 【YEEP】

#### YEEP (国際交流活動年次報告) 【英語発表】

于 伊如さん・川野 愛咲美さん・細井 健志さん・山部 良悟さん

校外で国際交流をおこなうグループ(YEEP)が英語で今年度の活動報告を行いました。今年は英語科と協働で模擬国連に夏・冬2回出場しました。関西の高校生と国際的な社会問題について英語で議論しました。そのほか、シンガポールの高校生とオンラインで交流や校内の留学生との交流を通じて、海外の高校生の視点を楽しみながら学ぶことができました。発表を聞いた生徒からは、「英語力が高く、端的にまとめてあり分かりやすかった」「学芸館にいる留学生に話しかけてみようかなと思いました」等の感想が集まりました。

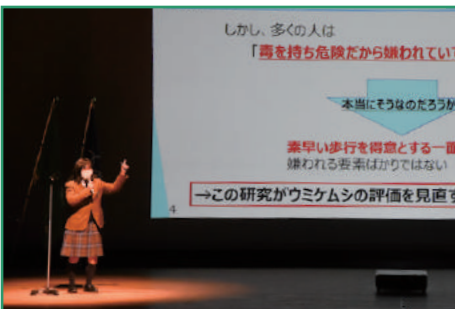


### 【社会福祉システムデザインゼミ】

#### 子どもと高齢者を守る人間愛に満ちた福祉社会の構築に向けて ～持続可能な地域福祉システムを考察する～

佐藤 克彦さん・藤原 寧々さん・齋藤 彩名さん・秋山 博香さん・森安 祐衣さん

これからの高齢者福祉と児童福祉の問題を解決するためには、人間関係が希薄化した地域を改善し、地域で高齢者と子どもを支え合う人間愛に満ちた福祉社会の実現が必要だと考えました。そこで、高齢者が子どもを支え、その子どもが高齢者を支えていく循環型社会福祉システムの構築が、持続可能な福祉社会を実現するのではないかと考え、高齢者と子どもが触れ合える場を行政機関と連携して実現させることができました。



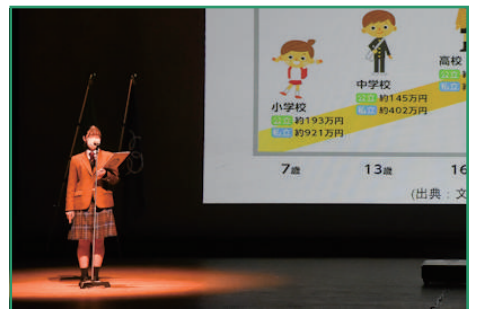
**【海洋教育ゼミ】  
ウミケムシの歩行の利用と研究**

小池 里歩さん・山本 心音さん・奥山 紗帆さん  
ウミケムシは知名度が低く有毒であるため、人々から嫌われています。しかし、海中でも陸上でも素早い歩行を得意とする一面もあります。私たちはウミケムシの歩行メカニズムの解明に努めています。今回はウミケムシの魅力をみなさんに伝えるため、研究発表を行いました。発表後に沢山の人から「楽しかった」「面白かった」と温かいお言葉を頂けて、非常に嬉しかったです。今回の報告会を新たなスタートラインとして、ウミケムシを模した歩行装置完成まで更に精進しようと思います。もし、またウミケムシを知っているか質問する機会があれば、次こそは会場中から手が上がることを期待しています。



**【英語科】  
英語科の取り組み紹介【英語発表】**

齋藤 優希さん・西原 樹里さん・高谷 陽成さん  
英語科は 2 年次に 1 カ年留学するためオンラインで指導を受けながら、教育、企業経営、ジェンダーなど各自の多様な興味関心をテーマとしてグローバルな視点で研究しました。その一例を要約する形でご紹介しました。発表を聞いた生徒からは、「表現することで自己肯定感が上がるということを個人的に深く理解できました」「留学をしていたのにも関わらず、留学の準備をしながら課題研究も同時にしていたことが素晴らしいと思いました」「英語科の人たちが英語で発表するのは新鮮でいい学びになったと思います」「自分もあんな風になりたいです」等の感想が集まりました。



**【政治経済ゼミ】  
高校生の結婚に対する意識**

大吉 桃花さん  
日本で深刻化している少子化に目を向け、原因とされている若者の非婚化、恋愛離れについて研究を行い、アンケート調査を用いて私たち高校生が結婚に対してどのような意識をもっているか明らかにしました。これまで大勢の人の前で発表する機会が少なく、とても緊張しましたが、自分が時間をかけて創り出してきたものについてより多くの人に聞いていただけて嬉しかったです。舞台裏では、他の発表者の人達とアドバイスをあつたり質問を考えたりするなど、報告会が終わるまで緊張感の中でよい刺激を受けることができました。研究内容や発表について改善点が見つかり、とてもいい機会になりました。



**【物質科学ゼミ】  
粉末が及ぼす摩擦への影響**

太田 匡映さん・伊久 陽翔さん・増永 勇汰さん・田中 恵太さん  
野球や体操で使われる滑り止め用の粉のロジンが、他の粉とは何が違うのかを実験を通して調査しました。硬式野球ボールの革を貼った物体を斜面で滑らせ、その結果から動摩擦係数を求め、滑りにくさを比較していました。この研究を通して、実験を行う時には慎重で細かな注意力が必要とされるのがわかり、研究の大変さと楽しさを感じることができました。また今回の発表で、グループメンバーで協力して進めてきた研究を大勢の人に知ってもらうことができ、達成感がありました。この経験を、今後の物理学的な研究や実践にも役立てていきたいと思っています。



**【地域活性化ゼミ】  
地域をつなぐ! わっしょいプロジェクト**

川ノ上 真乙さん・伊藤 央将さん・寺田 壮吾さん・寺本 陽太さん  
地域活性化ゼミでは、西大寺地区の将来的な人口流出を防ぎ、地域活性化をめざす活動に取り組んできました。そこで、「映画の撮影地として名のある『五福通り』」を舞台にし、地元について学ぶ最後の機会になり得る中学生と一緒に、五福通りのロゴ制作イベントを行い、地元への愛着形成をめざしました。終了後の事前・事後アンケートの集計から、地元のことがより好きになる傾向が明らかになり、将来的な定住意識の形成に有効な活動となりました。これらの成果を地元の方がいらっしゃる舞台上で発表できたことはとても有意義な活動になりました。



**【海洋教育ゼミ】  
大人になれなかったもやし達**

林志龍さん・松井 心優さん・三坂 小春さん・迫田 虹海さん  
海洋保全教育の一環でアマモ実生ポットを作成しています。しかし、2021 年度は成長した（本葉展開）ものと、成長しなかった（もやし化）アマモ実生が半々の割合で現れました。アマモ実生の本葉展開条件解明を目的とし、研究に取り組んだ成果を発表しました。研究対象であるアマモのキャラクター「アマモン」のカチューシャをつけて発表し、少なくとも 2 年生の中で、アマモンの名は一躍有名になったと思います。できるだけ簡単明快に説明しましたが、「難しい」という声が相変わらずたくさん聞こえてきました。この経験を活かして、今後の発表に臨みたいです。



## Topic 2 5校合同での研修会 カンボジア合同研修会に参加してきました

1月7日～8日の一泊二日で東京の啓明学園中学校高等学校にてカンボジア合同研修会が実施されました。参加校は主催校である啓明学園中学校高等学校の他、和歌山信愛中学校高等学校、昭和女子大学附属 中学校・高等学校、順天中学校・高等学校と本校の5校。いずれもグローバルに活躍の場を広げている高校です。



今年度の研修会では、現代における「開発」概念を再考し、その議論の移り変わりを理解するための取り組みを行いました。生徒自らの行為が現地にどのような影響を与えるのか、善意に基づく行為が他者にどのように結果として反映されているのかを理解するために参加体験型の学習によって学びを深めていきました。



研修会のファシリテータ教員を務めたのは宇都宮大学大学院地域創生科学研究科の教授であり、NPO 法人開発教育協会代表理事でもある湯本浩之教授です。氏のもとで、体を使ったアイスブレイクから頭をしっかりと使うグループディスカッションまで、充実した2日間となりました。

自身の行為を客観的に振り返ることで、行為者の意図した行動が必ずしもその意図通りの結果を生まないことを学び、参加した生徒たちは支援の難しさについて改めて認識し、学び多き会となりました。



## 令和4年度 受賞報告

甲南大学リサーチフェスタ2022  
甲南大学学長  
2V2 川ノ上 真乙さん



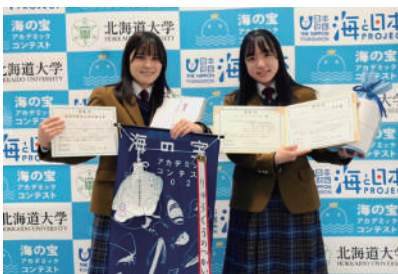
甲南大学リサーチフェスタ2022  
審査員特別賞  
2V2 葛原夢依さん・2V3 津國愛海さん



サイエンスキャッスル関東大会・THKものづくり0.賞受賞者成果発表会 優秀ポスター賞  
2M 土井智喜さん・谷口穂高さん



海の宝アカデミックコンテスト2022全国大会頂上コンテスト 優秀賞  
2M 迫田虹海さん・松井心優さん・林志龍さん・三坂小春さん・長島柊依さん



サイエンスチャレンジ岡山2022総合4位  
2S1 有村知晃さん・今井啓翔さん・大山泰河さん・栗山陽さん・繁田悠輝さん・2S2 矢部遼さん・2M 林志龍さん



岡山県統計グラフコンクールパソコン統計グラフの部 最優秀賞  
2E 亀井楓太さん・谷口和優さん・2S2 大西慶さん・2V3 濱村海斗さん

